

おおとしんじや まきの
大歳神社 (牧野)

まきのむら みなみ はし ほうれき
牧野村の南の端にあります。「宝暦14年」
(1764)と彫られた石の鳥居や、「明和・文化・
文政の時代」と彫られた石の燈籠・狛犬など
があります。

行った日



しょうれんじ
生蓮寺

そうとうしやう であ しやういちめんかんのりつぞう もくぞう あ み
曹洞宗のお寺で、十一面観音立像、木造阿弥
陀如来坐像がまつられています。「正徳五巳年
(1715)十一月施主林安右衛門」と彫られた
鐘があることから、これに近い時期に「長尾山
生蓮寺」という名前がつけられたと考えられ
ています。

行った日



すわじんじや すわ いわあな
諏訪神社 諏訪の岩穴

みず かみ たけあ なかのか
水の神さまといわれる建御名方神がまつられて
います。境内には多田古墳とよばれる長さ40m
の前方後円墳があり、県の文化財に指定されて
います。現在は、横穴石室内に石の祠がおかれ
ていて、入り口の前に拜殿がつくられています。
「諏訪の岩穴」とよばれています。

行った日



せんこうじ
専光寺

へいあんじだい お てんたいしやう であ た
平安時代の終わりに天台宗のお寺として建てられ
ました。永禄5年(1562)、本願寺第11代目の顕如
上人から阿彌陀如来の絵が贈られ、浄土真宗の
お寺として再出発しました。木造阿彌陀如来立像
がまつられています。お寺を開いたのは道明です。
本堂、鐘楼、山門、庫裏があります。

行った日



たけのみやじんじや
竹宮神社

やま しやめん さんだん うえ だん ほんでん ま なか
山の斜面を三段にけずり、上の段に本殿が、真ん中の
段に拜殿が建っていて、下の段は境内広場となってい
ます。まつられているのは、天照大神、豊受大神、大年
神、稲荷神です。灯籠は宝暦9年(1755)、手水鉢は
天保4年(1833)のもので、拜殿から本殿への石段
は宝暦4年(1754)につくられたものです。

行った日



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 美術品

- 伝統芸能 など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他



しら
調べたこと、
わ
分かったことを
か
書いてみよう!



やま だ ち く
57 山田地区

この地区は、播磨ゆかりの戦国武将・
後藤又兵衛が生まれた地といわれ
ています。どんな武将だったのか、調べて
みましょう。



ただはいじ
多田廃寺

すわ じんじや せいぼく ほんざいけい にし
諏訪神社の西北300mあたり、林崎池の西に
ある若宮屋敷といわれた地域が、多田廃寺の
跡地だと伝えられています。塔の土台であ
った石2個は諏訪神社の境内に保存されていま
す。青銅製の宝珠や石造りの相輪、古い瓦な
どが発見されました。

行った日



ばいりんじ
梅林寺

てんたいしやう であ ひくえ かんん しぞう
天台宗のお寺で、白衣観音がまつられています。お地藏
さまが片足を下ろし、もう片足を下ろした足の太ももに
乗せた姿の仏像もあります。昭和12年(1937)につくら
れた「山田郷土読本」という本には、昔、この場所に梅林
寺というお寺があって、その跡地に元禄2年(1689)那
公上人によって水田庵が開かれたと書かれています。

行った日



まきの かんん ひくたい かんんせきぶつ
牧野の観音さん(百体の観音石仏)

むし まきのむら ほうふう おそ やま おく やまつ
昔、牧野村を暴風雨が襲い、山の奥から山津
波がおしよせて村の田畑が流されてしまいま
した。その後、隣の村の裕福な人が田畑を
寄付して、お寺を建て直しました。村人は喜ん
で、光景寺の裏山に百体の観音さまをおまつ
りしたといわれています。

行った日



いっせきいちじ ほ けきやうづか
みちしるべ・一石一字法華経塚

てん まじんじや あな どうろ めいわ
天満神社の南の道路のそばにあります。明和
2年(1765)につくられたみちしるべで、表に
「右たじま道、裏に「明和二年酉 谷口助五
?」と彫られています。後ろにある一石一字法
華経塚には「天明八摠歳次 明善坊 戌申
龍集日 豪湛」などと彫られています。

行った日



みなみやまだ じやうあと
南山田城跡

たか やく まわ やく やま せうほんふん
高さ約50m、周りは約300mの山で、南半分は
児童公園につくり直されました。北半分のやぶ
の中には三段になった平らな土地があります。五
りょう ほうきやういんどう ほんざい せんごくじだい
輪塔や宝篋印塔のかけらが発見され、戦国時代
の終わりごろの山城の面影を残しています。後藤
又兵衛が住んでいたお城と伝えられています。

行った日

